

としょかん生活

●すべての町民の生活を応援します●

1

月号

編集・発行/佐用町立図書館

〒679-5301 佐用郡佐用町佐用 2585 番地

TEL:0790-82-0874 Fax:0790-82-0313

E-Mail:toshokan@town.sayo.lg.jp

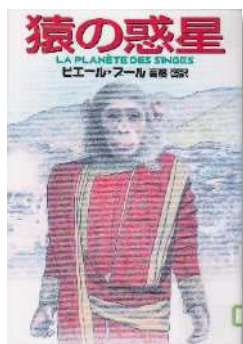
インターネットで蔵書検索できます <http://www.toshokan.town.sayo.lg.jp/> 2016年(平成28年)1月6日発行

新年あけましておめでとうございます

今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます



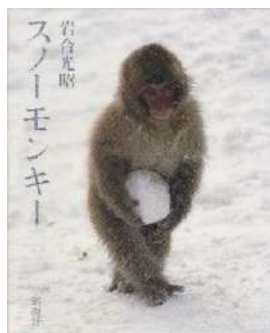
さて、年始めにまずは今年の干支「さる（申）」をテーマにした本をいくつかご紹介します。



まず一作目、さる(猿)といえはこの作品。ピエール・ブール著『猿の惑星』(早川書房)。同題で映画化され大ヒットとなった原作です。



二作目は、坂東真砂子著『道祖土家の猿嫁』(講談社)。高知、土佐を舞台に名家に嫁いだ落の物語。



そして三作目は、冬に温泉を楽しむ「スノーモンキー」として評判になった岩谷光昭の写真集。その名も『スノーモンキー』(新潮社)



四作目は、神戸新聞に猿文字で紹介された淡路島モンキーセンターの早紀ちゃんのおはなし。延原早紀著『ちいさな飼育員-淡路島ニホンザルのおはなし-』(講談社)

このほかに、中島さなえ著『いちにち8ミリの。』(双葉社)、ジェフリー・ディーヴァー著『石の猿』(文藝春秋)などもあります。ぜひご覧ください。

アキノ・イサム原画展

日時：2月14日(日)～28日(日)

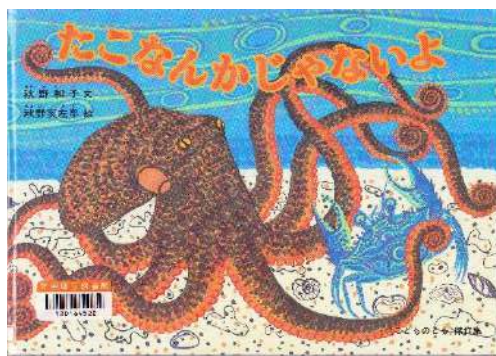
10:00～17:00 ※月曜休

会場：さよう文化情報センター ギャラリー

入場：無料

絵本作家・秋野亥左牟(アキノイサム)さんの絵本『たこなんかじゃないよ』の原画を展示します。また期間中には、同絵本の作者であり、奥様の秋野和子さん(上郡町在住)の講演会も開催します。どうぞ、ご家族そろってお越しください。

※原画展&ミニ講演会は、としょかんボランティア「あそばせ隊」との共催事業です。



『たこなんかじゃないよ』

文/秋野和子 絵/秋野亥左牟 福音館書店刊

＝秋野和子さんミニ講演会＝

日時：期間中いずれかの日(調整中)

会場：さよう文化情報センター

※詳しくは、後日チラシ等でお知らせします

としょかんの本棚から
おすすめの一冊

猿沢の池

北原白秋

猿沢の池のやなぎに
日がさした、冬の朝日が。

ととととと、
ととととと、
さむそうね、あの鹿、
こちらへときてるよ。

猿沢の池のむこうに
日があたる、寺の築地に。

ととととと、
ととととと、
さむそうね、あの鹿、
遠くから見てるよ。

猿沢の池のまわりに
日があがる、露の朝日が。

ととととと、
ととととと、
さむそうね、あの鹿、
鹿の子も走るよ。

『からたちの花がさいたよ』

北原白秋童謡選 与田準一編

(岩波書店) から

『動物翻訳家 - 心の声をキャッチする、飼育員のリアルストーリー』

片野ゆか／著
集英社 2015年



本書は動物園の飼育員たちの苦悩と奮闘を綴ったノンフィクション。飼育員たちは、動物たちの暮らしやすい環境をつくるため行動を理解し、心の声に耳をかたむけながら、運営や経営にかかわる問題も克服し、来園者が満足できるよう創意工夫をおこなっている。

飼育したことのないペンギンを展示することになった埼玉県こども動物自然公園では、飼育責任者として指名された小山さんにはペンギンの飼育知識ゼロだった。しかし、大自然のなかで暮らすフンボルトペンギンの姿を来園者に見せたいと、本物の土や植物を入れ、予算の問題をクリアし、ペンギンの展示では例のない動物舎の中を人が歩くウォークスルーを取り入れる。野生で暮らす群れの行動を見せてくれるようにと施設作りを進めるが、やってきたのは太陽の光や風にさえ触れたことがない完全室内飼育のペンギンたちだった。そんなペンギンたちが自然の土で巣作りをするまで3年、小山さんの試行錯誤が続く。(「緑の丘のペンギン」より)

他に、チンパンジーの群れづくり、アフリカハゲコウのフリーフライト、キリンのお引っ越しなど4つの物語が紹介されている。言葉を話さない動物のことをよく観察し、わずかな変化を察知して、なにをしたらいいのかを考え、何度も試みる飼育員たちの動物への愛情と情熱が感じられ、イキイキとした表情やダイナミックな行動をする動物たちに会いに行きたくなる一冊。(B・A)

『大雪』

ゼリーナ・ヘンツ／文
アロイス・カリジェ／絵
生野幸吉／訳
岩波書店 1965年



アルプスの冬、子どもたちはみんなそり大会のお祭りによばれ、ほうびをもらおうとそりの準備に励みます。ウルスリは家畜の仕事を終わると、そりにつけるたくさんのすずをみがき、いそいそと妹のフルリーナと納屋のそりを下ろしました。そして、フルリーナを雪がふるなか遠いふもとの村まで、そりの飾り毛糸を買いに行かせました。糸屋のおばあさんは、そじの真っ最中で「何台でも飾れるくらい長い長いふさをつないであげる、その間この床をせっせとみがいておくれ」と言って、フルリーナにそじの続きをさせました。

やがて、床がきれいになったころ毛糸のふさができあがりました。すっかり帰りが遅くなったフルリーナは、くれかかった嵐のなかようやく大きなもみの木に逃げ込みました。

一方、ウルスリは帰りの遅い妹が心配で探しに出かけました。なだれが谷へ転がり落ち、いくつもの木の幹をたおして枝が雪からつきでています。ようやく長い毛糸を見つけたぐつていくと、雪に埋まり疲れ果てたフルリーナを見つけ出しました。

細かく書き込まれたモノクロの線画と彩色の絵とが交互に配置され、山の冬の厳しさや人々の暮らしや動物たちがいきいきと表現されています。豊かに飾ったそりの長い行列で、すべる兄妹の表情はとて誇らしげでお祭りを楽しむ様子も伝わってきます。(M・Y)



『銀のスケート - ハンス・プリンカーの物語』

M. M. ドッジ／作
石井桃子／訳
岩波書店 1952年

オランダのブルック村近く、運河の側に住むハンス・プリンカーは15歳です。水守だった父さんが10年前の嵐の夜に事故に会い正気をなくしてからというもの、母さんの手伝いをしながら妹のグレーテルと3人で貧しいながらも支え合って暮らしていました。ハンスは、木彫り細工が得意で、勉強も仕事も難しければ難しいほど好きな家族思いの男の子でした。

冬が来て運河が厚い氷に覆われると大人も子どももスケート靴を履いて滑って移動したり、遊んだりします。スケート靴なんて買えない兄妹は、ハンスが木でスケートを作って、仕事の合間楽しんでいました。その様子をばかにする子もいましたが、市長の娘のヒルダは兄妹のスケートの上手さや我慢強さに感心し、優勝した者に銀のスケートが贈られるスケート大会の話をして一足スケートをプレゼントしてくれました。そんなある日、ハンスは、オランダ一の名高い内科外科のお医者さん、ブックマン医師に会い、父さんを診てくれるように頼むのです。

父さんの病気は治るのか、スケート大会で優勝するのは誰なのか。この他にも、父さんが正気を失う前に埋めた大金の行方や大切にしまっておくように言った時計の謎など、勇敢で実直なハンスを中心に、彼を取り巻く子どもたちの物語で語り進められます。すべての謎がとかれ、一家に幸福がやってくる結末は痛快で、熱いものが胸に迫ります。自分で読むなら中学生から。(T・Y)

おしらせ

としょかんボランティア
「あそばせ隊」のおはなし会

と き/毎週土曜日 14:00~14:30
ところ/図書館おはなしコーナー
対 象/幼児・小学生
※申込不要

図書館のおはなし会

■小さい人（5歳以上）

と き/毎週日曜日 14:00~14:30
1月のおはなし「さる地蔵」

■大きい人（小学3年生以上）

と き/毎週日曜日 14:30~15:00
1月のおはなし
前半:「絵本の会」
後半:「火の鳥と王女ワシリーサ」
※図書館おはなしコーナー
※申込不要

合併前の広報さよう・なんこうの製本ができました!

合併前の広報の寄贈をお願いしましたところ、皆さまのご協力によりましてこのたび広報さよう・なんこうの縮刷及び製本ができました。広報さようは昭和37年5月から、また広報なんこうは昭和38年1月発行から最終号まで整い、合併前の4町すべての広報誌が揃いました。旧町それぞれの出来事を綴った貴重な郷土資料です。館内閲覧のみとなりますが、ぜひご活用ください。

編集後記○△□

◆新年おめでとうございませう。今年も図書館をご利用いただきますようお願い申し上げます。◆合併前の広報の製本ができました。整理中、町の事業や話題を懐かしく振り返りながら作業にあたりました。寄贈いただいた皆様に感謝申し上げます。◆二月には、晩年上郡町で過ごされていたアキノ・イサムさんの「絵本原画展」を開催します。日ごろ、目にする機会が少ない絵本の原画をご家族そろってぜひご覧ください。(F・H)



この本を読んで!

『別冊黒い画集/ミステリーの系譜』

(松本清張全集7)

松本清張/著
1972年 文藝春秋

事実や史実をモチーフにした小説も多い清張作品。その中でも、「闇に駆ける猟銃」(P329~)は、日華事変ただ中と太平洋戦争直前の不安定な世情の下に、農山村に嘗て在った—或る習俗—の残渣を因由として、多くの村人に恨みをつのらせる青年、都井睦雄が起こした「津山事件」のドキュメントでした。



山あいの集落で昭和十三年に起きた、三十人もの凄惨な殺人事件。

社会状況や、事件・性習俗…等、現代の世相と対比しながら、興味深く読みました。

本位田甲 福田

図書館カレンダー

1月 January 睦月 | 2月 February 如月

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2		1	2	3	4	5	6
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
24	25	26	27	28	29	30	28	29					
31													

印の日は休館日です。

1月5日、2月2日は館内整理日。

2月11日は建国記念日。

開館時間は午前10時から午後6時です。

閉館時の図書返却は、返却ポストへ入れてください。